

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞  
(12月20日 午後3時現在)

平成23年12月20日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 12月10日午前10時11分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。  
現在の注水量は給水系配管から約4.7m<sup>3</sup>/時、炉心スプレイ系注水配管から約2m<sup>3</sup>/時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・ 8月10日午前11時22分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 10月28日、放射性物質の飛散を抑制する原子炉建屋カバーの設置工事が完了しました。
- ・ 11月30日午後4時4分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。
- ・ 12月19日午後6時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。
- ・ 12月20日、原子炉格納容器への窒素の封入および格納容器ガス管理システムからのガス排気量について、これまでの運転実績を踏まえ、窒素封入量およびガス管理システムからの排気量の変更を実施しました。同日午前11時、原子炉格納容器への窒素封入量を約28Nm<sup>3</sup>/時から約18Nm<sup>3</sup>/時に調整し、同日午前11時30分、ガス管理システムからの排気量を約15Nm<sup>3</sup>/時から約30Nm<sup>3</sup>/時に調整しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 9月14日午後2時59分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。  
現在の注水量は給水系配管から約2.9m<sup>3</sup>/時、炉心スプレイ系注水配管から約6m<sup>3</sup>/時です。
- ・ 5月31日午後5時21分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・ 10月28日午後6時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。
- ・ 12月1日午前10時46分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

- 9月1日午後2時58分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
- 12月20日午前10時47分、給水系配管からの注水量を約3.9m<sup>3</sup>/時から約3m<sup>3</sup>/時、炉心スプレイ系注水配管からの注水量を約5m<sup>3</sup>/時から約6m<sup>3</sup>/時に調整しました。
- 現在の注水量は給水系配管から約3m<sup>3</sup>/時、炉心スプレイ系注水配管から約6m<sup>3</sup>/時です。
- 6月30日午後7時47分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- 7月14日午後8時1分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- 11月30日午後4時26分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。

#### 4号機（定期検査で停止中）

- 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認しました。
- 7月31日午後0時44分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- 11月29日午前10時58分、4号機の使用済燃料プールにおいて塩分濃度を低減するためイオン交換装置の運転を開始しました。
- 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

#### 5号機（定期検査で停止中）

- 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- 7月15日午後2時45分、本設の残留熱除去海水系(B系)ポンプによる残留熱除去系(B系)の運転を開始しました。
- 津波の影響により使用出来なかった5号機残留熱除去海水系ポンプ(B)の復旧作業が完了したため、12月20日午前9時55分、試運転を開始し、同日午前11時22分、異常がないことを確認したため、本格運用を開始しました。これにより、5号機の本設残留熱除去海水系ポンプは(B)と(D)の2台となりました。なお、試運転の間、5号機残留熱除去系ポンプ(B)を同日午前9時39分から同日午前10時11分まで一時的に停止し、原子炉の冷却を停止しましたが、この間の炉水温度上昇は約0.1℃であり安全上の問題はありません。
- 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

#### 6号機（定期検査で停止中）

- 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- 9月15日午後2時33分、原子炉は残留熱除去系、使用済燃料プールは補機冷却系および燃料プール冷却系、各々の系統による冷却を開始しました。
- 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

#### その他

- 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- 6月17日午後8時、水処理設備において滞留水の処理を開始しました。また、7月2日午後6時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを経由して原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- 8月19日午後7時41分、セシウム吸着装置から除染装置へのラインと第二セシウム吸着装置の処理ラインの並列運転による滞留水の処理を開始しました。

- 10月7日午後2時6分、伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的とした構内散水を、5、6号機滞留水浄化後の水を利用し、開始しました。
- 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、10月28日、1～4号機の既設護岸の前面に海側遮水壁の設置に関する工事に着手しました。
- 12月13日午後0時25分、淡水化装置（逆浸透膜式）において、淡水化装置（逆浸透膜式）処理後の濃縮水発生量の抑制を目的とした、再循環運転による運用を開始しました。

以 上